

説明文の内よつを読み取る

名前	組	番	月	日	正答数
					2

ねらい ●書かれてることを正かくに読み取る。

問題

次の文章を読んで、あとどの問題に答えましょう。

「ウラギンシジミというチョウは、葉のうらにとまって冬をこします。」
つぎの年、さらにたくさんの中のウラギンシジミをみつけると、こんどは、なぜ、号令をかけたように、おなじ方向をむいてとまっているのだろうか、という疑問もでてきました。

おなじ場所で冬こしをしているウラギンシジミを何びきかみつけると、きまつて頭を葉さきのほうにむけて、からだのむきをそろえるようにしてとまっています。一枚の葉を二ひき、おおいときは四ひきも利用しているばかりがあつたのですが、そのときもなかよくならんでいるのですから、ふしきでたまりませんでした。

（きっと、ウラギンシジミがこのむとまり方があるにちがいない。そして、なにか理由があるのでないだろ？）

そうかんがえて、どの方向をむいているか、方位磁石じしゃくをもちあるいてしらべてみました。すると頭を、南東、南、南西にむけてとまっているものがおおいことがわかりました。

ウラギンシジミは、南むきの、日だまりのような場所の木でおおくみつかります。また一本の木でも、北むきの日あたりのわるい枝の葉にはあまりいません。そのような条件じょうけんで、頭が南方向をむいているということは、東のほうからと、西のほうからの光がよくあたるということです。つまり、朝夕、気温が低いときに、羽によく太陽があります。

気温が低いと、まつたくうごくこともできないウラギンシジミが、太陽の光をうまくつかって、できるだけからだをあたためておこうとしているのではないか。どうしようか。

（高柳芳恵 「葉の裏うらで冬を生きぬくチョウ」 より）

◆ 読解のポイント①

〔たいせつ〕

どんな疑問について書かれているかをとらえましょう。

- ① 疑問は、文章の初めのほうに書かれていることが多い。
- ② 疑問は、「……(だろう)か。」という形でしめされることが多い。

「なぜ、号令をかけたように、おなじ方向をむいてとまっているのだろうか」

(1) ふしづいでたまりませんとあります。何がふしづいのですか。次の□にあてはまる言葉を文章中からぬきだしましよう。

ウラギンシジミは、なぜ

方向をむいてとまっているのか。

◆ 読解のポイント②

〔たいせつ〕

しらべた結果をもとに、どんなことを考えたかを、読み取りましょう。

〈しらべた結果〉

・南むきの木でおおくみつかる。

・北むきの日あたりのわるい枝の葉にはあまりいない。

〈しらべた結果〉

・頭が南方方向をむいている。

朝夕、気温が低いときに太陽にあたる。

〈考えたこと〉 気温が低いと、まったくごくことができないウラギンシジミが、太陽の光をうまくつかって、からだをあたためておこうとしているのではないか。

(2) 朝夕、気温が低いときに、羽によく太陽があたりますとあります。このことから、どんなことを考えましたか。次の□にあてはまる言葉を文章中からぬきだしましよう。

ウラギンシジミは、気温が

と、まったく

こともで

きないので、太陽の光をうまくつかって、できるだけからだを

ておこうとしているのではないか。

説明文の文一つを読み取る

●・●・●・●・●・●・●・●

P5JA1_010

(2) (1)
おなじ
低い・うごく・あたため

(1)
初めから読んでいくと、ウラギン
シジミが「おなじ方向をむいてと
まっている」ことに注目しているこ
とがわかります。
(2)
最後の段落に、観察をして考えた
ことが書かれています。